

社団法人 埼玉県経営者協会会報



10・11

'14 月号

赤地文夫氏(コカ・コーライーストジャパン(株)取締役常務執行役員)、浅見郁樹氏(東日本旅客鉄道(株)執行役員大宮支社長)を理事並びに副会長に選任
— 理事会、一六年度臨時総会開催 —

新副会長の紹介



□赤地 文夫(あかち ふみお)氏



□浅見 郁樹(あさみ いくじゅ)氏

業本部長
平成二四年一月 取締役専務執行役員経
営戦略本部長
平成二四年十月 取締役副社長執行役員
経営戦略本部長
平成二五年七月 コカ・コーライースト
ジャパン(株)取締役兼三国コカ・コーラ
ボトリング(株)取締役副社長
平成二六年一月 コカ・コーライースト
ジャパン(株)取締役常務執行役員営業本
部広域法人営業統括部統括部長

十月九日(木)十四時より理事会を、引き
続き十四時三〇分より臨時総会をバレス
ホテル大宮で開催した。
まず、理事会で臨時総会に諮る議事案
件等をご協議いただき、その後、臨時総
会を開催した。
臨時総会は、冒頭、西村会長の挨拶が
行われ、その後、議事に入り、以下の二
議案が承認された。

二、副会長の選任
◇副会長候補者 赤地 文夫
(コカ・コーライーストジャパン(株)取締
役常務執行役員)
◇副会長候補者 浅見 郁樹
(東日本旅客鉄道(株)執行役員大宮支社
長)
その後、事務局より一六年度上期事業
報告等が行われ、臨時総会は閉会した。
また、臨時総会終了後、キリンビール
(株)元代表取締役社長 松沢幸一氏より
「人間中心の経営」人を動かす、チーム
を動かす」と題して講演会が行われ、そ
の後懇親会が開催され、会員同士の親睦
が図られた。



臨時総会で開会挨拶
をする西村会長



臨時総会



講演する松沢幸一氏



理事会

- 【生年月日】
昭和二八年四月一日
- 【略歴】
昭和四七年八月 三国コカ・コーラボト
リング(株)入社
平成一三年一月 営業本部埼玉東支社開
発部長
平成一三年十一月 営業本部流通販売部
長
平成一四年十一月 営業本部チェーンス
トア事業部長
平成一五年十一月 執行役員営業本部長
兼F&L営業部長
平成一六年三月 取締役常務執行役員営
業本部長
平成一八年一月 取締役常務執行役員業
務本部長
平成一九年一月 取締役常務執行役員業
務本部長兼三国ロジスティクスオペレ
ーション(株)代表取締役社長
平成二一年一月 取締役常務執行役員営
業本部長兼東支社長
平成二二年三月 取締役専務執行役員営
業本部長兼東支社長
平成二三年一月 取締役専務執行役員営
- 【生年月日】
昭和三四年九月十七日
- 【学歴】
昭和五七年三月
東京大学工学部土木工学科卒業
- 【略歴】
昭和五七年四月 日本国有鉄道入社
昭和六二年四月 東日本旅客鉄道(株)入社
昭和六三年三月 信濃川工事事務所工事
管理室課長代理
平成二六年六月 建設工事部管理課長代
理
平成二三年四月 総合企画本部投資計画部
課長代理
平成二七年六月 東京工事事務所担当課長
平成二九年六月 建設工事部課長代理
平成二二年六月 建設工事部担当課長
平成二三年五月 盛岡支社総務部長
平成二六年六月 東京工事事務所次長
平成二〇年六月 建設工事部次長
平成二一年六月 建設工事部担当部長
平成二二年六月 事業創造本部部長
平成二四年六月 執行役員秋田支社長
平成二六年六月 執行役員大宮支社長

平成二六年度第六回トップセミナー

『IOEが築く企業の未来〜ネットワーク化がもたらす企業成長力強化』と題して、シスコシステム合同会社

専務執行役員木下剛氏が講演

誕生から二〇年余り。インターネットは驚異的な進化を遂げ、国や社会、企業、個人など、あらゆるものに変革をもたらしてきました。しかし、それでもこの世界の九九%以上はインターネットにつながっていません。

近い将来、これまでつながっていなかった、あらゆる人・モノ・データ・プロセスがつながる「Internet of Everything (IOE)」の時代が到来するといわれております。

平成二六年度第六回トップセミナーは、こうした近未来を展望し、平成二六年九月十六日(火)十四時よ



講演する木下剛氏

り、ソニックスティイビル四階市民ホールにおいて、インターネットの創成期から深くその発展に寄与してきた世界最大のコンピュータネットワーク機器開発会社シスコシステムズの日本法人であるシスコシステムズ合同会社 専務執行役員 木下 剛氏を講師としてお迎えし、「IOEが築く企業の未来〜ネットワーク化がもたらす企業成長力強化〜グローバル競争と変化が定常化する時代の革新的スピード経営に向けて」と題し開催、十八名が参加した。

木下氏からは、グローバル競争と変化が定常化する時代における革新的スピード経営に向けて、シスコが持つIOEビジネスの具体的なビジョンとアプローチについて語っていただきました。講演の骨子は以下の通り。

□講演の骨子

・近未来にはすべてがインターネット



第6回トップセミナー

ットにつながるInternet of Everything (IOE)の時代が到来し、インターネットは新時代へ移行する。

◇IOEにより、人、モノ、データ、プロセス間の有機的な連携と融合が実現し、情報をもとにした分析と経験を交えた適切なアクションを即時に導き出すことにより、個人/企業/国家の新たなサービス、従来にない価値の創出等、次世代インターネットエコノミーが出現する。

◇IOEによる次世代インターネットエコノミーは二〇一三年から二〇二三年の十年間で、全世界で一、四四〇兆円というとてもない経済効果を生み出し、特にその効果は製造業で大きく、

日本の製造業にもたらす経済効果だけでも七六兆円を超えると試算している。

◇グローバル化の次は、多様で変化が連続する時代が到来し、企業経営はこうした変動をチャンスに変えるスピードが競争力の源泉になる。

◇変化変動の時代には、二〇世紀型業務分業体制は見直しされ、階層型組織からネットワーク型組織へ移行し、新たな次元のコラボレーションが求められるようになる。

◇現在産業分野において膨大な量のデータ(ビッグデータ)が生成されているが、それらの多くは未だ分析されていない。また、IOEの世界では、データの価値は鮮度が命であり、事後のマーケティングよりリアルタイムの分析・反応がより重要となる。

◇IOEにより、分業によって損なわれた現場、管理、経営の結びつきを取り戻し、現場、管理、経営の一体化による真の情報基盤構築を通じ、知識共有を通じたスピードを伴った企業行動が実現し、変化変動の時代を勝ち抜くことができるのである。

目次

○ 理事会、臨時総会開催	一
○ 第六回トップセミナー	二
○ 第七回・八回トップセミナー	三
○ 第九回・十回トップセミナー	四
○ 第十一回トップセミナー	五
○ 第五回特別セミナー	五
○ 第一回・第二回ウーマノミクス推進委員会	五
○ 埼玉県労働セミナー	六
○ 連載この人・会員企業紹介 (株)ハーベス前田知憲氏・広告	七
○ 第三五次小笠原きづき・振り返り洋上研修	八
○ 平成二六年度埼玉県最低賃金	九
○ 青年部九月・十月例会	十
○ 新入社員フォロアアップ研修	十一
○ 埼玉大学研究者との出会いの広場	十二
○ ものづくり大学ようこそ	十三
○ 地区会員企業のホットな話題	十四
○ 埼玉県からのお知らせ	十五
○ 日本経団連の動き・ワンポイント労働法	十六
○ 「生涯現役社会に向けた雇用制度」の導入を検討してみませんか	十七
○ 事業だより、こんな時にこんなことを、広告	十八
○ 告知板、会員の動き	十九

平成二六年度第七回トップセミナー

『強い組織のつくり方』多様性を生かす マネジメント』と題して、

神戸大学大学院教授鈴木竜太氏が講演

現在の職場では正社員比率の低下に伴い、働き方だけでなく、様々な背景や価値観を持った人が働いています。これらの多様性を活かし、最大の成果を上げるには何が重要か。コラボ（協働）、職場の空間距離、理念・価値の共有、自由な会議、社員のかかわりなど、かつての日本企業のような安定した雇用関係も再評価されています。

平成二六年度第七回トップセミナーは、こうした認識に基づき、平成二六年九月二四日(水)十四時より、ソニックシティビル四階市民ホールにおいて、「関わりあう職場のマネジメント」で二〇一三年



講演する鈴木竜太氏

度第五六回日経・経済図書文化賞を受賞された、神戸大学大学院経営学研究科教授 鈴木竜太氏を講師としてお迎えし、「強い組織のつくり方」多様性を生かすマネジメント」と題し開催、四八名が参加した。

鈴木氏からは、「関わりあう職場」をつくりあげること、職場や現場が、そして組織が強くなるためのマネジメントの視点について具体的な事例を交え語っていただきました。講演の骨子は以下の通り。

□講演の骨子

◇現在の企業環境は、女性の社会進出、高齢者の雇用、グローバル化の進展、働き方の多様化など多くの多様性の中にある。

◇多様性は創造性を生み出すというメリットがある反面、コンフリクトを引き起こすというデメリットがある。したがって、多様性に関するスタンスとしては、



第7回トップセミナー

①多様性によるデメリットを抑えるため多様性を抑制する、②多様性によるメリットを享受するため多様性を活かすという二つのスタンスが考えられるが、多様性が進む現在、単に多様性を抑えていくというマネジメントは難しい。

◇多様性を規定するものとして、下の四つが考えられる。

①フォルトライン（亀裂・断層）を考慮し、年配男性VS若手女性のよう多様性を単一に捉え

ない。

②オフィスレイアウトなど物理的な距離を縮める。

③リッツカールトンのクレドマネジメントやカヤックの面白法人など、組織文化・組織のアイデンティティで組織に傘をかける。

④職場の中の相互依存性を強めたり、関わりあうことの創出やそれによる鍛えなどの職場での関わりあいを強化する。

平成二六年度第八回トップセミナー

『禅に学ぶ成功するマネジメント』と題して、 ビジネスコーチ・吉田有氏が講演

◇具体的な関わりあう職場のマネジメントとしては、職場における関わりあいを強化し、仲間意識、互恵性意識を向上させたり、他社への責任を認識させたりすることを通じ、援助や勤勉、創意工夫などの行動を促したり、上からのマネジメントではなく下からのマネジメントを通じ開放的なコミュニケーションを創出することなどが考えられる。

変化のスピードが加速化するとともに、変化の大きさ・影響度が増大し、かつ複雑化しつつある現在のビジネス環境の中で、エグゼクティブとして高いパフォーマンスをあげるためには、内省(Reflection)することが不可欠になってきています。そして、内省(Reflection)の中で最も重要なのが、表面的な事象にとらわれず、課題をシンプルに捉え本質を見極めることです。

平成二六年九月二九日(月)十四時より、ソニックシティビル四階市民ホールにおいて、「禅に学ぶ成

なりは、こうした認識に基づき、平成二六年度第八回トップセミナー



第8回トップセミナー

功するマネジメント」と題して、ビジネスコーチ株式会社取締役でBCS認定プロフェショナルコーチである吉田有（たもつ）氏を講師としてお迎えし、「禪に学ぶ」成功するマネジメント」と題し開催、四四名が参加した。

吉田氏からは、ステイブジョブスの二〇〇五年六月のスタンフオード大学卒業式の伝説のスピーチ（セミナーの中で上映）等を参考に、禪の考え方を活かして仕事を、そして人生をマネジメントするヒントについて語っていただいた。



講演する吉田有氏

平成二六年度第九回トップセミナー

『“悩み”を手放すことなく真の強さを掴み取る生き方とは』と題して

聖学院大学学長（東京大学名誉教授）

姜尚中氏が講演

（聖学院大学の紹介、彩の国さいたま劇場からの

ご案内・劇場内見学も実施

大ベストセラーとなった『悩む力』（二〇〇八年／集英社）、『続・悩む力』（二〇一二年／集英社）。

「悩みはつきないはずです。人間的な悩みを、人間的に悩む」ことが生きていることの証です。から。「幸福の方程式を変えることが不可欠です。」等々、珠玉の言葉にハットした方も多いのではない



講演の中で参加者同士の話し合いも行われた



第9回トップセミナー



講演する姜尚中氏

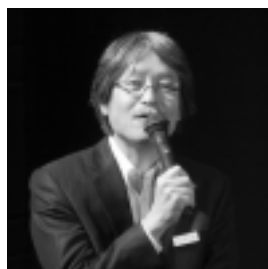
いでしょうか。

平成二六年度第九回トップセミナーは、平成二六年十月二日（月）十三時三〇分より、彩の国さいたま芸術劇場・映像ホールにおいて、この『悩む力』『続・悩む力』の著者で、現代を代表する政治学者、そして聖学院大学学長であります姜尚中氏を講師としてお迎えし、『悩みを手放すことなく真の強

さを掴み取る生き方とは』と題して開催、四〇名が参加した。なお、講演の聖学院大学の紹介、講演終了後、彩の国さいたま芸術劇場からのご案内・劇場内見学が行われました。



聖学院大学の紹介を行う鈴木隆キャリアサポート部長



彩の国さいたま芸術劇場の概要等について説明する専務理事木全義男氏



会場からの質問に答える姜尚中氏



劇場内を見学する参加者

平成二六年度第十回トップセミナー

『わが国の経済、財政、金融の減所と課題』と題して関東財務局長細田隆氏が講演

平成二六年度第十回トップセミナーは、平成二六年十月二〇日（月）

十四時よりパレスホテル大宮四階ロースルームにおいて、関東財務

局長 細田 隆 氏を講師として
お迎えし、「わが国の経済、財政、
金融の現状と課題」と題して下記
の通り開催、三二名が参加した。
細田局長からは、財政、経済、
金融の現状と課題について詳細な
資料、データに基づき説明をいた
だいた。

特に財政については、一般会計
税収、歳出総額、公債発行額の推
移、主要経費の推移、人口推移、
社会保障給付費の将来見通し、財
政収支・債務残高の国際比較、そ
して中長期の経済財政収支試算
等々、詳細な資料に基づき説明が
行われ、最後に日本の財政収支の
厳しさを示す、ヘンリー・J・ア
ーロン ブルッキングス研究所シ
ニアフェローの以下の発言を紹介



講演する細田隆関東財務局長

し財政の説明を終了した。

「最後はあぶないジョークで話を
締めたいと思います。一般的には
ジョークというものは訳すとうま
く伝えられないものだと分かって
いますが、現在の日本の債務残高
は非常に高水準にもかかわらず、
目下のところ深刻な問題を引き起
こしていないという主張を聞くと
次のような話を思い浮かべます。

ある人が東京タワーの天辺から
飛び降り、二〇階を通り過ぎてい
る時、誰かが「調子はどうだい？」
と叫ぶと、この人は「今のところ
順調だよ」と落ちていきながら答
えました。

私はこのジョークこそが、日本
の債務残高の対GDP比が（非常
に高水準にもかかわらず）これま
でのところ問題を引き起こしてい
ないことをもって、将来も問題を
引き起こさないだとうという主張
への教訓になると考えています。」
平成十五年十月の消費税10%へ
の引上げを政府が判断する時期が
近づいている状況下、財政の厳し
さを認識する上で本講演は絶好の
機会となった。

平成二六年度第十一回トップセミナー

『危機管理の欠如があなたの会社を潰す』

『企業の危機管理広報のあり方』

『各種失敗事例を踏まえて』と題して、 『広報戦略研究所代表の大槻茂氏が講演』

説明責任の果たし方、社会的責
任の取り方など、危機に際しての
「広報」の不手際から傷口を広げ
る不祥事が一向に後を絶ちません。

しかも、同じ組織が同じような失
敗を繰り返しています。最近でも、
大手銀行の不正融資、鉄道会社の
相次ぐ安全軽視問題など、新聞紙

面をにぎわせた不祥事は枚挙にい
とまがありません。

平成二六年度第十一回トップセ
ミナーは、こうした状況を踏まえ、
平成二六年十月二十九日(水)十四時よ
り、ソニックシティビル四階市民
ホールにおいて、「危機管理の欠
如があなたの会社を潰す」企業の
危機管理広報のあり方」各種失敗
事例を踏まえて」と題し、広報戦



第11回トップセミナー

略研究所代表の大槻茂氏を講師と
してお迎えし開催、五九名が参加
した。

大槻氏からは、読売新聞社会部
記者としての豊富な取材経験と知
識に基づき、各種失敗事例を踏ま
えながら、危機管理広報の重要性
について語っていただきました。
危機管理は企業経営の要諦であ
ることは論を待ちません。自らの
会社を守る、危機管理広報のあり
方を学ぶまたとない機会となった
講演会でした。



講演する大槻茂氏

平成二六年度第五回特別セミナー開催

『実効性の高い事業継続計画を策定する ための具体的方策とは？』と題して

AGSシステムアドバイザー

コンサルタント 金子正男氏が講演

BCP（事業継続計画）について
必要性・重要性に関する認識が高
まり、多くの企業で策定に向けた



第10回トップセミナー



金子正男氏



第5回特別セミナー

取り組みが行われました。
しかしながら、各企業の実情をみると、計画書として策定はされたものの、マニュアル・訓練方法の見直し、人材育成などの取り組みが十分できていないとの声が多く聞かれております。

平成二六年度第五回特別セミナーは、こうした現状を踏まえ、平成二六年十月八日(水)十四時より、

ソニックシティビル四階市民ホールにおいて、不測の事態への企業対応力の強化支援を目的に「埼玉BCMセンター」を開設したAGSシステムアドバイザー株式会社

社 コンサルタント 金子 正男氏を講師としてお迎えし、『実効性の高い事業継続計画を策定するための具体的な方策とは?』と題して開催され、二五名が参加した。

働く女性応援講座

平成二六年度第一講(平成二六年度

第一回ウーマノミクス推進委員会)開催

働く女性応援講座平成二六年度第一講(平成二六年度第一回ウーマノミクス推進委員会)は平成二六年九月十七日(水)十時から、埼玉県女性キャリアセンターと本会と

の共催で、With Youで埼玉セミナー室で開催され、仕事を続けながらキャリアアップを目指す女性三〇名参加了。今回の講座は、自分の興味や大



働く女性応援講座第一講



交流会

事にしていること、持ち味を発見し、将来なりたい自分をイメージするという内容で、自由に着席した席ごとにグループとなったり、隣の席の人とペアになったりしてワークを行ないながら、以下のテーマを中心に開催され、その後交流会も開催された。

さらに強みや持ち味を発見する。時代や社会、組織が求めているのはどんな人物かを個人と組織の両方の視点で考える。組織の中で、または組織外で自分が理想とするロールモデルを考える。理想や持ち味を反映した自分になりたい姿を具体的に記述する。

ポジティブ・アクション推進セミナー(第二回ウーマノミクス推進委員)

平成二六年度「均等両立推進企業表彰式」「表彰企業事例発表」「講演」女性の力を経営に活かすには」を開催

ポジティブ・アクション推進セミナー(第二回ウーマノミクス推進委員会)は一〇月二七日(月)一三時三〇分より、ソニックシティビル四階市民ホールにおいて埼玉労働局との共催で開催され、一〇九名が参加した。

セミナーは、まず埼玉労働局総務部長木幡繁嗣氏の開会挨拶に始まり、続いて平成二六年度「均等・両立推進企業表彰」表彰授与式に移り、「均等推進企業部門」埼玉労働局長優良賞を川口信用金庫、



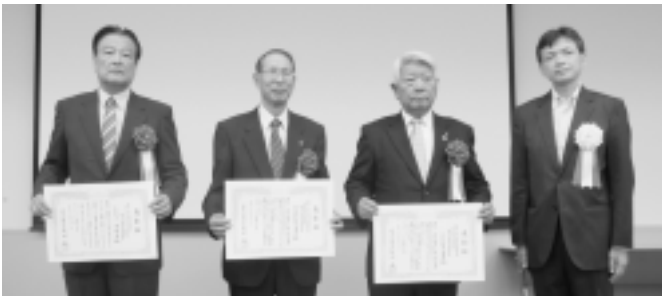
ポジティブ・アクション推進セミナー

埼玉縣信用金庫の二社が、「ファミリー・フレンドリー企業部門」埼玉労働局長奨励賞を社会福祉法人杏樹会が受賞し、続いて受賞企業三社の事例発表が行われた。

その後、「女性の力を経営に活



開会挨拶をする埼玉労働局
木幡繁嗣総務部長



「均等推進企業部門」埼玉労働局長優良賞を受賞した
左から杏樹会、埼玉縣信用金庫、川口信用金庫

かすには」と題して、内閣府少子化危機突破タスクフォースチームリーダーである渥美由喜氏より講演が行われ、本セミナーが終了した。



講演する渥美由喜氏



100名を超える参加者があった

県、本会、連合埼玉共催

「埼玉県労働セミナー」の事業者向けセミナーの平成二六年度第四講「労働時間管理のポイント」と、第五講「メンタルヘルスの現状と対策」を開催

埼玉県、本会、連合埼玉の三者共催で昨年度から開催している「埼玉県労働セミナー」の事業者向けセミナーの第四講を九月一日(木)、第五講を九月一六日(火)にいずれも新都心ビジネス交流プラザにて開催した。

調の原因の一つとして、長時間労働などの過重労働が挙げられており、従業員の健康管理を図る上で、企業の適正な労働時間管理が求められていることから、今回の講座は第四講で労働時間管理の基礎知識や長時間労働の解消のための労務管理について、第五講ではメン

タルヘルス問題の現状を確認し、効果的な予防対策や発生してしまった場合の適切な対処法などについて特定社会保険労務士と臨床心理士より講演が行われた。

講座のテーマについては以下の通り。

□第四講 九月一日(木)

演題…「労働時間管理のポイント」

講師…特定社会保険労務士 若杉由加里氏
参加者…二七名
主なテーマ…

○従業員の健康管理と労働時間管理

○労働時間管理の法律知識

○長時間労働解消のための労務管理(長時間労働と疾病の関係、産業医等の活用)

○過労死等防止対策推進法の概要

□第五講 九月一六日(火)

演題…「メンタルヘルスの現状と対策」

講師…臨床心理士 真下りか氏
参加者…二九名
主なテーマ…

○職場におけるストレス要因とストレス反応

○企業のメンタルヘルス対策の必要性、管理者に求められる役割

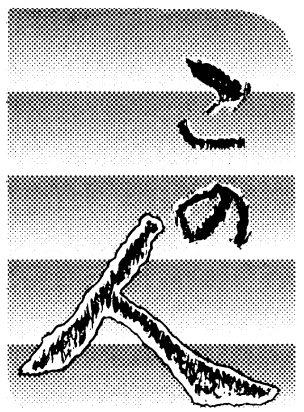
○メンタルヘルス不調への気づきと対応
○職場復帰における支援の進め方



第4講 特定社会保険労務士
若杉由加里講師



第5講 臨床心理士
真下りか講師



株式会社ハーベス

代表取締役 前田知憲氏

この人と話をしていると、温厚な人柄が垣間見られ心が和む。不思議な雰囲気と魅力をもった人である。

「新しいことにチャレンジすることや、新たなひらめきが生まれた時はとても楽しい」とこやかに語る。常に新鮮な発想を思い描き、日常を過ごすことが楽しくて仕方ないようである。

前田知憲(まえだともり) (株)ハーベス代表取締役は、佐賀県の伊万里市出身。高校まで佐賀で過ごし、大学進学のため単身上京。



株式会社ハーベス 代表取締役前田知憲氏

法学部に入学したが、電器店でのアルバイト生活がメインとなり、稼いだお金で憧れの車を購入しドライブに出かけたり、模型飛行機をつくり大会に出場したりと、とにかく好きなことには夢中になるタイプ。さらに、新しもの好きで趣味や興味の幅はどんどん膨らむという。結果的にはそのような性格が前田社長のための人生を大きく左右することになる。

大学卒業後、特殊潤滑剤メーカーに就職。営業職で入社したが、実際は何でも屋だった。当時は従業員十名程度の会社だったため、まかない食の当番から、化学実験の手伝いなど、一番若年だったため何でもやらされた。自分が思い描いた社会人生活とはかけ離れていたが、あまり辛さは感じなかった。「むしろ、大きな組織よりも中小企業で色々なことを経験した方が自分には合っている」と感じた。

就職後五年間、自分なりに創意工夫しながら、営業活動や新製品開発などで実績をあげた。しかし、小さな組織ゆえのワンマン経営体質と従業員の扱いに対するオーナーの考えに折り合いが悪くなり、「もし自分が独立したらまず『人』を大切に企業にしたい」と強く思うようになり、二九歳で退職、その翌月には(株)ハーベスを設立した。

起業に際しては、前職で知り合った取引先の社長が協力してくれたり、妻、父などの理解も得て何とか一歩を踏み出した。当時はま

だ主流ではなかったドライ潤滑剤が将来的には必ず需要が伸びると確信していた。「独立当時はミニ四駆ブームで大人から子どもまで夢中になって遊んでいた。自分も学生時代模型づくりに夢中になったこともあり、ミニ四駆にも興味を持った。駆動輪などの潤滑剤として自分が開発したドライ潤滑剤が最適ではないかと思い、タミヤ模型に売り込み採用された」と当事をふりかえり、「学生時代学業をおろそかにして夢中になったことが少しは役にたった」と照れ笑った。

起業から十年は開発した試作品の製品化や販路開拓などで一人奔走、苦労したという。前田社長と会話していると苦労も苦労話に聞こえないため本人に確認すると、「好きなことや自分が決めたことをやったのだから、あまり苦労とは感じなかった」と語り、「むしろ家族をはじめ周囲の人たちの協力に対し、今更ながら感謝する」とふりかえった。

新しいものの好きで根っからのアイデアマンと自負する社長は、試行錯誤を繰り返しながら開発した画期的なドライ潤滑剤の用途についても閃きがおこり、まずカメラなどの光学機器メーカーに売り込み採用、高く評価された。このことに自信を持ちその後、CD・MDなどのAV機器、レーザープリンタやコピー機などの事務機器、そしてパチンコ台や自動車電装部品などのメーカーに売り込み、各メーカーも使用実験から従来品とは異なる品

質と使い勝手の良さを体感し採用。次々と販路を拡大した。

その後、信頼と品質を勝ち取ったハーベスのドライ潤滑剤は売上を伸ばし、現在では売上高三〇億円を越え、国内に四つの工場、海外でもソウルに支店、香港、上海、米国に現地法人を開設する企業にまで成長した。

社長は、「とにかく人がやらないことをやりたい。潤滑剤という本業だけではなく、まだまだ色々なアイデアが沸いてくる」と目を輝かせた。実際、普通のミネラルウォーターではなく、福島のお会津で天然炭酸水の源泉から採取した天然水を商品化する技術を開発し、新たな事業の柱としての展開をすすめ、今後は地ビールなどの製造も視野に入れたという。アイデアと夢はますます膨らむ。

そして、二九歳で独立したときに決意したとおり、「人」を大切にすることを続けたという。会社方針は「日本一社員満足度の高い会社を目指す!」。「社員満足度をあげ、社員が楽しく仕事をし、幸せを感じる会社をつくるのが社長としての使命のひとつ」と胸を張り、「関わった人とはGIVE&TAKINGではなく、GIVE&GIVEの関係性でいたい。長い目でみるといつかは自分にかえてくると信じている」と温厚な人柄を覗かせた。

ご家族は妻と二人の娘、趣味は車の運転と飲ミニケーション、ゴルフ。土日の家族サービスマも欠かさないという。

〔略歴〕

- 昭和三十三年六月生まれ 佐賀県出身
- 昭和五八年三月 駒澤大学法学部卒業
- 昭和五八年四月 関東化成(株)入社
- 昭和六三年三月 関東化成(株)退社
- 昭和六三年四月 (株)ハーベス設立

代表取締役就任
現在に至る

人を大切に

企業の実現

株式会社
ハーベス

■潤滑剤事業



OA機器、AV機器、カメラをはじめとする電子・精密機器などの速乾性ドライ潤滑剤や自動車電装部品を中心とした車載機器用の高性能グリースをご提供しています。

■包装・充填事業 (OEM)



お客様のブランドによる潤滑剤・グリース・洗浄剤等の各種容器（金属チューブ、ラミネートチューブ、ガラス・樹脂等のボトル他）への充填加工を行っております。

■天然水事業



福島県・奥会津天然炭酸水胃健冷鉱泉の源泉から採取された炭酸

装基板防湿コーティング剤、撥水撥油剤をご提供しています。

水の製造販売を行っています。「aQatzu」は、温泉分析書を伴った、大変珍しい天然の炭酸水です。

■CSR・社会貢献

ハーベスではCSRを「社会から信頼される企業になること」と考えております。
重点施策としては、ワーク・ライフ・バランスへの取り組みに力を入れてまいりました。社員一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、「仕事と生活の調和」を目指します。

具体的には、社員の仕事と育児の両立を支援（子育て休暇、短時間勤務の実施）、社員総会の開催（毎年6月開催）、高齢者の積極的活用、障害者雇用の促進等々です。

ハーベスは1988年4月東京都に株式会社ハーベスを設立し、その年にグリース「ハイループ」を発売して事業をスタートしました。その後、速乾性ドライ潤滑剤「ドライサーフ」の開発に成功、販売開始、1992年7月さいたま市に本社を移転して、本年度27期の事業年度を迎えることができました。その後、工業用フッ素系コーティング剤「デュラサーフ」の製造販売を開始して、当社の事業の大きな柱を立てることができました。合わせて新たな事業を立ち上げるためにNEDO（経産省管轄）の支援による新技術開発を進めております。事業の発展とともにISO9001とISO14001の認証を取得、さいたま市「テクニカルブランド」企業といった数々の認証を取得。海外にも積極的に事業展開を図り、韓国に支店を設立、上海と香港そして2013年に米国に現地法人を設立して世界に販売網を伸ばしております。

■フッ素化学品事業



オリジナル合成した特殊なフッ素樹脂を、不燃性のフッ素系溶剤に溶解し液化化したフッ素コーティング剤を開発しました。スマートフォン、携帯電話、モバイル機器、デジカメ、ムービーなどの実



More For You
もっと、街・暮らし・笑顔のために

武蔵野銀行

銀行の常識を変えよう。

埼玉りそな銀行

RESONA



<http://www.resona-gr.co.jp/saitamaresona/>

第三五次小笠原きづき・ふりかえり洋上研修

荒波を乗り越え洋上 島内研修を延期日程で実施



第35次小笠原洋上研修団

今年で三五回目を迎えた「小笠原きづき・ふりかえり洋上研修」は、

七月、八月、九月の事前集合研修および通信教育を終え、当初九月二七日・十月二日の六日間で小笠原洋上・島内研修予定した。しかし、この便は台風十七号の影響により三日遅れの九月三〇日発に変更となり、洋上・島内プログラムの遂行上日程を延期とした。

当初日程から二週間延期した十月十日・十五日の便で、研修生三六名、スタッフ八名の総勢四四名の研修団を編成し、小笠原往復の船内研修と小笠原村・父島での島内研修などのプログラムを行い、無事終了した。

延期日程でも、本年の世界最強となったスーパー台風一九号の影響を受け、往路の十日夜半から父島到着の十一日昼ごろまで波高五メートルにうねりも加わり、研修生は船酔いに悩まされ、復路も台風通過の余波からうねりが残り、船内での洋上研修は一部プログラムの中止や時間の短縮などを余儀なくされた。往復の洋上研修は波の影響が少ない海域・時間帯での集中講義や研修生の頑張りもあり、「目標設定」や「成果と課題のふりかえり」、「アドバイスカードの作成・交換」など洋上船内研修での主要プログラムは実施する



10.10 乗船（期待と不安を胸に）

ことができた。

出航の十月十日（金）、東京竹芝桟橋を定刻に出航したおがさわら丸は荒波を越え翌十一日（土）、予定より一時間遅れの十二時三〇分に父島到着、片道二六時間半の船旅となった。亜熱帯気候の小笠原は通常十一月頃までは内地の真夏と同様三〇℃前後の気温となるが、到着した日は台風の影響か曇天と風で、気温も二五℃程度と肌寒ささえ感じる気候だった。

例年は港に停泊するおがさわら丸でのホテルシップで小笠原での三日間を過ごすこの研修だが、今回は台風からのうねりの影響で船での宿泊はできなくなり、研修団一行は数件の民宿やベシションへの分宿となった。

小笠原の島内研修では、初日夜は雨天のため星空見学会は中止したが、その他の島内見学、ウォークラリー、現地交歓会、ラリー表彰式、課外活動、たこの葉細工体験などのプログラムは予定通り行い、滞在後半の十三日から最終日の十四日は、日中は晴れ間もみられ小笠原本来の気候も体感し、野外での活動を終えた研修生は日焼けもあ

り遅しく変貌した。

三五年という歴史をもつこの研修は、六・七名でチーム編成、洋上研修も含め六日間寝食を共にする。そして、グループワーク中心のプログラムを体験することにより、目標設定と達成度、リーダーシップ、チームワーク、コミュニケーション、問題解決、異業種交流などを船内洋上研修と島内体験学習により実践する。

また、毎年温かく歓迎していただく小笠原村の村民の方とふれ合い、伝統芸能の披露や地元の特産品などを紹介していただく。

十月十二日（日）に行われた現地の方との交歓会では、森下一男小笠原村長、安藤光一 小笠原村商工会長、金子隆小笠原村観光協会会長から歓迎のご挨拶や乾杯の発声などをいただいた。また、各団体の職員や郷土芸能の団体の方など多くの方も参加し懇親をはかった。郷土芸能では二〇名という団員を有するフラダンスチームの精鋭が格別のフラダンスを披露、そして、迫力ある小笠原太鼓の演奏、さらに東京都



10.10 洋上研修

の無形民俗文化財に指定されている南洋踊りを披露していただいた。毎年研修団との共演を楽しみにしている郷土芸能の皆さんは、今年も我々研修団を温かく迎いられ、フラダンス、太鼓で飛び入りの共演、そして、南洋踊りでは研修団全員が加わり一緒に踊りを楽しんだ。

小笠原洋上研修は、これら、洋上での船内研修や世界自然遺産小笠原の大

往路船内研修の主なプログラム

十月十日(金)～十五日(水)

- ① 結団式／乗船
- ② オリエンテーション、スタッフ紹介・メッセージ
- ③ チームの行動指針と個人目標設定
- a. 作成方法・手順の説明
- b. チームの行動指針と個人目標の確認、コミットメント(約束宣言)
- ④ アドバイスカードの作成・交換
- ⑤ 目標設定の総括
- ⑥ 役割担当者別ミーティング
- ⑦ 現地交歓会
- ⑧ ラリー表彰式
- ⑨ 課外活動
- ⑩ 「たこの葉細工」体験
- ⑪ 研修団記念撮影 など

小笠原・父島島内での主なプログラム

十月十一日(土)～十四日(火)

- ① 島内見学
- ② 南洋踊り練習
- ③ ウォークラリー解説
- ④ ウォークラリー(チーム対抗野外体験学習)
- ⑤ 自己理解、他者理解、相互理解
- ⑥ 行動開発計画書の解説と能力要件のふりかえり
- ⑦ 研修の総括とまとめ、スタッフからのコメント
- ⑧ 解団式／下船

復路船内研修の主なプログラム

十月十四日(火)～十五日(水)

- ① ウォークラリーふりかえり
- ② 島内研修のふりかえり
- ③ 研修での成果と反省
- a. チーム行動指針のふりかえり
- b. 達成度と課題の発表
- ④ アドバイスカードの作成・交換
- ⑤ 自己理解、他者理解、相互理解
- ⑥ 行動開発計画書の解説と能力要件のふりかえり
- ⑦ 研修の総括とまとめ、スタッフからのコメント
- ⑧ 解団式／下船

小笠原洋上研修の概要

この研修は、本会が「次代を担う人材育成プログラム」として職場リーダーやリーダー候補を対象に開催しているもので、グループワーク中心の体験・自己企画型研修として定着しており、今年で三十五年目を迎えた。

マネジメントやリーダーシップの基本を事前研修や通信教育で学び、さらに真のリーダーシップやコミュニケーションスキルなどを世界自然遺産となった「小笠原」という非日常空間で体験的に学習する。参加者は今度も含めて過去二、二〇〇名を超える実績がある。

■実施期間・平成二十六年七月～十二月

■研修団派遣地・東京都小笠原村・父島

■研修使用船・小笠原海運(株)おがさわら丸 六、七〇〇トン

■参加者・一九社・三七名

■第三十五次洋上研修団・四名

■協賛(順不同)・小笠原村、小笠原村商工会、小笠原村観光協会、小笠原ホエールウォッチング協会、日通旅行、小笠原海運

第三十五次研修日程・プログラム概要

六月～ 通信教育受講・提出

テキスト「マネジメントの基本・メンバーの育成と活用」

◇第一回集合研修・七月二八日

- * 開講式
- * オリエンテーション

研修のねらいと目標

研修概要の説明
基本コンセプトの確認

* 個人プロフィール発表

* 洋上・島内ガイダンス①

* リーダーシップ講義

① 「リーダーシップと対人関係能力」
演習とふりかえり

② 「コンセンサス実習」

個人ワーク／グループワーク

* 通信教育 学習のすすめ方

* 課題「職場活性化診断」

◇第二回集合研修・八月二五日

* チームづくり

* マネジメント講義と演習

* 「管理監督者の基本的役割」

* 「職場活性化診断・相互紹介」

* 「管理監督行動の基本」(CCTテスト・理解促進討議)

* 「組織管理の原則と実践行動」

* 「管理プロセスの実践」

* 効果的部下指導とリーダーシップ

* 問題解決と業務統制

* 洋上・島内ガイダンス②

* 課題「状況対応リーダーシップ」

自己診断

◇第三回集合研修・九月八日

* ワーク

* 「役割担当者等討議・決定・発表」

* 講義

* 「リーダーシップ行動の自己認知」

* 個人ワーク・解説

* 「T A エゴグラム―自己状態の分析」

* 講義・ワーク

* 「リーダーの能力要件」

* 「能力要素別の自己分析」

* 「リーダー(私の)行動目標の設定」

* 「相互理解／相互啓発」

* ウォークラリー解説①

基本ルールと注意事項など

* 洋上・島内ガイダンス③

* 通信教育進捗状況説明

* 課題「私のリーダーシップ行動開発」挑戦目標

◇小笠原洋上・島内研修

十月十日～十五日(六日間)

〔概要は前述〕

◇第四回集合研修・十二月二日

フォローアップ研修／職場実践へのキックオフ

* ワークシヨップ

* 「ふりかえり研修」

* 講義

* 「行動開発計画表発表準備・指導」

* 発表

* 「行動開発計画書の発表」

* 「行動開発計画表まとめ」／参加上司コメント

* まとめ

* 「これからのリーダー像」／研修総括・まとめ

* 通信教育・洋上研修修了式

* 第三五次修了パーティ



第35次スタッフ

第35次 小笠原洋上・島内研修 参加者およびスタッフ名簿

〔参加者〕 企業名50音順

〔スタッフ(洋上・島内研修スタッフ)〕

企 業 名	参加者	企 業 名	参加者	役 割	氏 名	所属・役職
アイル・コーポレーション(株)	小川 功	(株)日本キャンパック	大野 秀樹	講 師	遠藤 紀彦	(株)エイデル研究所 人材育成推進 部研究員
	松浦 公則		橋本 和也			
AGS (株)	浅野 慎也		日本信号(株)			
	木崎純太郎	山井 亮平				
クリーンシステム(株)	柴田 一也	日本畜産興業(株)	河合 健	研修・運営	本橋 隆行	(社福)隼人会 まきば園 サービス相談 室主任
	塩入 大輔		井上 洋之			
(株)コーサー 狭山事業所	森 正行	初雁興業(株)	木下 眞阿			
サイデン化学(株)	松岡 誠一	(株)ハーベス	鈴木 健太			
	大田和 弘		清水 悠			
	大西 信明	(株)ビージーエンジニアリング	高橋 武弘			
(株)トッパンマテリアルプロダクツ	工藤 洋平	(株)ピックルスコーポレーション	近藤 栄作	事務局・ 団長代行	宮田 信久	(一社)埼玉県 経営者協会 事務局次長
(株)トッパンコミュニケーション プロダクツ	西牟田慎吾		飯野 潤			
	染谷 隼	武州ガス(株)	西田 健			
(株)トッパン・テクニカル・デザインセンター	久住 一樹	武州産業(株)	高田佐登史	事 務 局	出井 孝一	(一社)埼玉県 経営者協会 研修主幹
	金子 直樹		小林 保朗			
日信ソフトエンジニアリング(株)	芳本 貴男	(社福)隼人会 まきば園	高田 博志			
	腰山 一	(社福)隼人会 岩槻まきば園	新井 大助			
(株)日本キャンパック	横山 一嘉	(社福)隼人会 鴻巣まきば園	吉野 隆広			



7.28 第1回集合研修



8.25 第2回集合研修



9.8 第3回集合研修



10.10 アドバイスカードの作成・交換



10.12 ウォークラリーゴールシーン



10.12 現地交歓会 (全員で南洋踊り)



10.12 森下一男小笠原村長歓迎挨拶



10.14 現地観光船の見送り



10.15 チーム目標のふりかえりと発表

埼玉県最低賃金の最

(平成26年度)

埼玉県最低賃金	時間額 (円)	発効日
	802	26.10.1

埼玉県内で働く全ての労働者（下記の「産業別最低賃金」が適用される人を除く。）に適用されます。

特定（産業別）最低賃金	時間額 (円)	発効日
非鉄金属製造業 (非鉄金属第1次製錬・精製業、非鉄金属素材製造業及びその他の非鉄金属製造業を除く。)	854	次の人達には、上記の「埼玉県最低賃金」が適用されず。 1. 18歳未満又は65歳以上の者 2. 雇入れ後3月未満のものであって、技能習得中のもの 3. 清掃又は片付けの業務や手作業に主として従事する者 4. 製造業については、手作業による包装、袋詰め、箱詰め又は運搬の作業に主として従事する者
電子部品・デバイス・電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業 (医療用計測器製造業（心電計製造業を除く）を除く。)	859	
輸送用機械器具製造業 (産業用運搬車両・同部分品・付属品製造業及びその他の輸送用機械器具製造業（自転車・同部分品製造業を除く）を除く。)	870	
光学機械器具・レンズ、時計・同部分品製造業	870	
各種商品小売業 (衣・食・住にわたる各種の商品を小売する事業が該当する。)	821	26.12.1
自動車小売業 (二輪自動車小売業（原動機付自転車を含む）を除く。)	869	

(注1) 最低賃金の対象となる賃金には、精皆勤手当、通勤手当、家族手当、時間外・深夜・休日手当、臨時又は1月を超える期間ごとに支払われる賃金は算入されません。

(注2) 著しく労働能力が低い人などについて、埼玉労働局長の許可を受けた場合には、最低賃金の特例許可金額が適用されます。

青年経営者部会

九月例会開催

青年経営者部会の九月例会が九月十二日(金)午後、ソニックスティビル九階902号室において二十一名が参加し、もしもん(株)代表取締役社長 栗原志功氏の講演と「和楽」での懇親会の二部構成により開催された。

第一部は矢部利人副部会長(丸和工業・社長)の司会・進行で執り行われた。

開会で藤池一誠部会長(デサン・社長)は今回、副部会長の栗原社長の講演でもあるので、皆様から大いに質問等を出していただくとともに、積極的な討論を通じて、



9月例会で挨拶する藤池一誠部会長

栗原社長のようなユニークな雰囲気での講演会にしたいと挨拶された。その後講演会に移り、小・中学校時病弱であったことから始まり、仕事は、携帯電話の路上販売からスタートし、現在では五十一店舗を運営するにまで至った過程を話された。そのユニークな戦略の一つに店名があり、大宮では「もしもんキー ルー大宮! トウギヤザー! しょうぜい店」(大宮をタレントのルー大柴にかけている)、茨城県守谷では「茨城守谷がつて行こうぜ店」(守谷を盛りあげて、にかけている)などである。一見ユニーク過ぎるくらいもあるが、通常の店名では、先発大手の一般的な店舗と変わらず、大手と



講演する栗原志功氏

同じような顧客しか来店しない。そこで、この様なユニークな店名であれば、大手販売店とは、相違した顧客が来店し、ターゲットを絞ることが出来るという、強かな戦略を取り、先発大手とは、同じ土俵に上がらない考えでもある。最後も、ファイトあふれる新進気鋭の起業家らしく、経営は「できるかな?」じゃねえよ、やるんだよ、と、ユニークに講演を結ばれた。

その後、坂本哲朗幹事(カツミテクノ・専務)より、謝辞が行われ、第一部は終了した。第二部の懇親会は、会場を居酒屋「和楽」に移し、白田和弘幹事(白田ファインモーターズ・社長)の司会・進行で執り行われ、眞子岳志副部会長(眞工社・社長)により、乾杯と挨拶が行われた。歓談では、新会員の大井貴博氏(保坂商店・常務)の紹介があり、和気調々の懇親会が続いた。最後に、内藤 岳副部会長(内藤環境管理・常務)による挨拶・中締めが行われ、九月例会は盛会裏のうちにお開きとなった。

も、会議に加わっていただき、組み合わせ、ルール、バスの乗り合わせ等々、詳細を合議した。役員会及び準備会は、会場をパレスホテルに移し行なわれ、式次第の最終確認、二次会の方式変更及び会場の選定、部会員の担当割、懇親会のタイムスケジュール等々、詳細を確認し、さらに、パレスホテルの三階、四階の会場を視察した。

青年経営者部会

全国大会決起十月例会開催



全国大会準備会

青年経営者部会の全国大会決起十月例会が十月二十日(月)午後、第三十九回経営者協会青年部全国大会の会場となる大宮パレスホテルにおいて二十六名が参加し、ゴルフ委員会(会場は経営者協会事務室、参加者は八名)、役員会、準備会、懇親会の四部構成により開催された。ゴルフ委員会では、エクスカーシオンである記念ゴルフ大会会場の震ヶ関カンツリー倶楽部を十六組確保していただいた吉野寛治特別会員(吉野電化工業・社長)に

続いて行なわれた懇親会で、藤池部会長は、全国の青年部会会員に、埼玉県の良さと、当会の部会員のおもてなしの心を、十二分に感じていただくよう挨拶された。また、大会懇親会で提供される料理、飲物等々を試食・試飲し、意見を交換した。

最後に、望月 諭会計監事(望月印刷・社長)により中締めが行なわれ、決起大会は成功裏にお開きとなった。



懇親会で挨拶する藤池一誠部会長

新入社員フォローアップ 研修を開催

新入社員フォローアップ研修を
一〇月二〇日、大宮ソニックシテ
イで開催した。

入社後半年が経ち、職場や仕事
にも少しずつ慣れ、戦力として大
きく期待される半面、色々な疑問
や不安を抱くようになったり、慣
れからの緩みが生じたりするこの
時期に「入社後の仕事を振り返り、
より良い仕事を遂行するための考
え方やスキルを学び、今まで以上
に積極的に仕事に取り組めるよう
意欲の向上を図る」ことを目的に
開催、参加した四八名が様々な課
題に取り組んだ。



積極的な取り組み姿勢の重要性を再確認するための教育ゲーム



職場での具体的実践に繋げるために、グループワークでの気づきを振り返る

プログラムは
1. 入社後の職場生活を振り返り、
見直しを図る

2. 仕事を円滑にするためのコミ
ュニケーションとチームワー
クの重要性を理解する
 3. 効率的な仕事をするための基
本を習得する
 4. 職場で期待される心構えと役
割を再確認する
 5. 新しいビジネスマナーの知識
とビジネススキルを再確認す
る
- の5部構成。
りそな総合研究所(株)パートナー

講師・古澤美奈子人材教育研究所
代表古澤美奈子氏による講義は、
グループワーク、グループ討議を
通じて体験的に理解頂く参加者主
役型で進められ、「体験と振り返
り」を重ねることで気づいたこと
を職場での具体的な実践に繋げる
ような内容となった。

プログラム中では「あなたに期
待される役割」として、

1. 積極的な取り組み姿勢
 2. 仕事の実践者
 3. 職場のコミュニケーションの
実践者
 4. 先輩の補佐役
 5. 明るい職場づくりの一員
 6. 自己啓発
- といった内容が紹介された。
グループワークでは、職場の中
のコミュニケーションの重要性、
特に「報告・連絡・相談の重要性」
に関して学び、また、ビジネスマ
ナーの振り返りでは、電話応対や
名刺交換、訪問時のマナーや言葉
遣いなどの再確認に取り組んだ。

- 参加者からは、
- ・ 演習を通して情報共有の難しさ
と大切さを実感したので、改め
てこまめな報告と連絡を忘れず
に行っていきたい。
 - ・ 困っていることや苦労したこと
など、自分だけではないことを
実感でき、やる気に繋がった。
 - ・ ゲームを通して、コミュニケー
ション能力と情報の共有に関す
る重要性を実感したので、意識
して業務に携わりたい。
 - ・ 自分の役割や期待されているこ
と、また心構えに関するプロダ
ラムが印象に残った。今後どの
ようなことに取り組んでいかな
ければいけないのかを、明確に
意識することができた。
 - ・ 職場では上司の指示待ちが多か
ったことに気づいた。明日から
は自分から何をしたら良いか考
え、取り組んでいきたい。
 - ・ もう一度初心に戻る良いきっか
けになったので、しっかりと意識
して実践していきたい。
 - ・ 改めてマナーの大切さやコミュ
ニケーションのとり方を確認で
きたので、明日から活かしてい



グループワークを通して気づいたことを話し合い「気づき」として発表



名刺交換等、ビジネススキルを再確認する

きた。
といった感想が出されるなど、貴
重な「振り返りの場」となったよ
うだ。

〔参加会社・組織〕

- (株)アクアテルス①、(株)アズ企画
設計⑥、ウム・ヴェルト(株)④、
エヌ・ティ・ティテレコン(株)首
都圏支店③、サイエンス(株)②、
(株)ショーモン②、(株)鈴木鶏卵G
Pセンター①、太陽管財(株)①、
(株)高協基礎工事②、東京インキ
(株)⑦、中原建設(株)⑥、日本容器
工業(株)①、(株)プラコー②、もし
もん(株)⑨、(株)雄飛堂①
○の中の数字は、参加者数。合
計四八名。

埼玉大学研究者との出会いの広場

シリーズ
第85回

今回の内容について、ご関心・興味をお持ちの方は、下記にご連絡下さい。
 埼経協 専務理事 根岸 茂文、事務局次長 宮田 信久 ☎048-647-4100
 FAX048-641-0924

研究の内容	産業への展開
<div data-bbox="122 376 260 546">  </div> <div data-bbox="293 418 681 463"> <h2>光で脳の活動を可視化</h2> </div> <div data-bbox="322 468 1168 504"> <p>埼玉大学理工学研究科/脳末梢科学研究センター 中井 淳一 教授</p> </div> <div data-bbox="122 526 632 739"> <p>脳末梢科学研究センターでの私の研究は(1)脳や神経がどのように働いて、ヒトを含む動物が周囲の状況に対応して適切な行動をとれるのか、その元になる脳の神経回路の働きを研究しています。(2)てんかんなどの神経疾患がなぜ起こるのかの原因を研究しています。(3)上記の研究を進めるのに役立つ技術の開発を行っています。</p> </div> <div data-bbox="122 739 632 1135"> <p>今回は我々が開発した細胞の中のカルシウム(イオン)を測る蛍光センサーについてお話しします。我々の体にはカルシウムがたくさんあります。カルシウムの大部分は骨にあるのですが、細胞の中にもごく微量カルシウム(イオン)があって、これが非常に重要な役割を果たしています。筋肉の収縮、心臓の収縮、胃や腸のぜんどう運動、血圧の維持(血管の平滑筋が関係します)、ホルモンの分泌、脳活動、からだの発育、受精などほとんどすべての事に細胞の中のカルシウム(イオン)が関係しています。したがって、ごく簡単に言ってしまいますと、「カルシウムの変動がわかれば細胞の活動もわかる」と言えます。</p> </div> <div data-bbox="122 1135 632 1227"> <p>我々は2008年にノーベル化学賞を受賞した下村脩博士が発見した緑色蛍光タンパク(GFP)を用いて、カルシウム(イオン)が結合すると蛍光が</p> </div> <div data-bbox="667 526 1177 1196"> <p>出る蛍光カルシウムセンサー(G-CaMP ジーキャンブと読む)を開発しました。ジーキャンブはタンパク質でできています。タンパク質は細胞で作られますが、その設計図はDNAつまり遺伝子です。ジーキャンブの遺伝子を細胞に取り込ませるとその細胞はジーキャンブを作ってくれるようになり、自ら蛍光を出して光るようになります。ジーキャンブを組み込んだ動物も作ることができ、我々の研究室では動物の神経や筋肉の活動を蛍光観察用の顕微鏡を通して目で見るようになり、ジーキャンブは今では世界中の多くの研究者に利用されています。脳の研究だけに留まらず、再生医療の基礎的研究や薬の効き方を調べるためにも利用されつつあります。</p> </div> <div data-bbox="877 817 1173 1227">  <p>蛍光 カルシウムイオン GFP 結合 G-CaMP 50 μm ジーキャンブの蛍光を発する神経細胞</p> </div>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 蛍光プローブを発現する細胞、モデル動物の創薬利用 2. 蛍光プローブを用いた検査キット開発 3. 光学測定機器の開発 <p>学歴・略歴 中井淳一 (なかい じゅんいち) 1991年 京都大学大学院 医学研究科博士課程修了、医学博士。京都大学・医学部医化学第二講座・助手、岡崎国立共同研究機構生理学研究所・液性情報部門・助手、理化学研究所・脳科学総合研究センター・神経回路ダイナミクス研究チーム・副チームリーダー、記憶学習機構研究チーム・副チームリーダーを経て、2009年より埼玉大学教授</p>
<div data-bbox="122 1288 260 1458">  </div> <div data-bbox="293 1328 1137 1370"> <h2>アカパンカビを用いた寿命に関する遺伝子の研究</h2> </div> <div data-bbox="391 1375 1168 1413"> <p>埼玉大学研究機構科学分析支援センター 島山 晋 准教授</p> </div> <div data-bbox="122 1435 632 1877"> <p>日本の平均寿命は、この半世紀で30歳も上昇している。また、近年年齢の割に若く見えるかたが多いようにも思える。社会情勢の変化や、食糧事情、健康・医療などの発展によるものであろう。言うまでもなく、永遠に若さを保つことは不可能であり、すべての生物は老いと寿命を受け入れなければならない。その老化には幾つかの原因が考えられており、ミトコンドリアの機能低下も主たる要因の一つである。ほとんどの生物は、たとえじっとしていたとしても、絶えずエネルギーを生み出さなければならず、ミトコンドリアはその大切な役割を担っている。そして、加齢に伴いミトコンドリアの機能が落ちてくると、例えば、酸化物が増えて細胞が錆び付きやすくなり、老化が加速するのである。</p> </div> <div data-bbox="122 1874 632 2080"> <p>私はアカパンカビを研究材料として、細胞の寿命のメカニズムを解明しようとしている。普通のアカパンカビ(野生株)は菌糸を数年間伸ばし続けることができる。しかし、ある遺伝子に異常があると、20日程度で伸長が止まって、植え継ぐことができない。これらの遺伝子はミトコンドリアの分裂と融合のバランスを保持する働きがあり、</p> </div> <div data-bbox="667 1435 1185 2080"> <p>遺伝子の異常によってこのバランスが崩れ、老化が招かれるという考えに至った。正常な細胞において、分裂と融合のバランスは、ミトコンドリアの「悪い部分」を淘汰するために重要である。興味深いことに、バランスが崩れた状態は、ヒトの場合でも老化した細胞や、パーキンソン病やレーバー病のような治療が難しい病気で観察されている。我々は他にも、幾つかの寿命の短いアカパンカビの変異株の解析から、新しい遺伝子を見いだしている。アカパンカビはヒトと共通したミトコンドリアの維持機構を持っていると考えられているが、ヒトのような倫理的制約がなく、新しい遺伝子の探索がより容易である。この研究によって、老化や寿命に関する新たな知見、そして治療が困難なミトコンドリア病の原因解明なども期待できるであろう。</p> </div> <div data-bbox="828 1845 1168 2031">  </div> <div data-bbox="858 2031 1144 2080"> <p>左：正常なミトコンドリア、 右：断片化に偏ったミトコンドリア</p> </div>	<p>ミトコンドリアの維持に関わる遺伝子の機能解析は、老化・寿命に関連する医療・健康分野、治療が難しいミトコンドリア病の治療法の開発において、基礎的な情報を提供し、産業を創成できる可能性がある。</p> <p>学歴・略歴 島山 晋 (はたけやま しん) 1998年3月 埼玉大学大学院博士後期課程修了。博士(理学)。バイオベンチャー企業、秋田大学医学部研究員、秋田県立大学木材高度加工研究所研究員を経て、2004年10月より現職。専門分野：微生物遺伝学(DNA修復、寿命)</p>

「ものづくり大学」へようこそ

連載
第66回

今回の内容について、ご関心・興味をお持ちの方は、下記にご連絡下さい。
埼経協 専務理事 根岸 茂文、事務局次長 宮田 信久 ☎048-647-4100
FAX 048-641-0924



「歴史遺産を活かしたまちづくり」で埼玉を元気にする!

建設技能工芸学科 横山 晋一 准教授

埼玉県北を中心とした歴史的建造物保存事業に研究室として携わり、早くも10年近い月日が経過しました。昨年は近代日本経済の父とも称された渋沢栄一も創設に関わった「国登録有形文化財 深谷商業高等学校記念館」の修復事業に携わりましたが、研究室所属学生と共に地道な現場調査・文献調査・類例調査を根気強く行った結果、創建当初（大正11年）の様相に復原整備を図ることが適いました。これにより、フレンチ・ルネサンスを基調とする外観は、現状の白色から三緑色の彩りを持つ華やかなものに復されましたが、外壁や窓枠などの当初材に残る塗料痕跡や、モノクロ竣工写真のカラー解析などの研究成果が、復原へ導く決め手となりました。

この建物は今、現役学生や地域住民などに開放され、積極活用が成される洋風建築の好事例となっています。



深谷商業高等学校記念館 外観

現在、多くの県民の方々から「やきゅうさま」と親しまれている「埼玉県指定有形文化財 箭弓稲荷神社社殿」の調査研究と修復事業に携わっています。この社の創建は古く、和銅5年と伝えられており、一昨年には御鎮座千三百年を迎えられました。現在の社殿は現存する棟札や普請帳などから、建立は天保14年と考えられます。近年、国宝に指定されました歓喜院聖天堂（熊谷市）と同様な権現造で、内外装に彫刻を纏う装飾建築です。

八代將軍徳川吉宗の施策である儉約令などの影響で、外観は素木となりますが、本殿内部には極彩色が施されており、世相を知るうえでも貴重な歴史遺産と言えます。

創建当初の様相も各種調査によって概ね明らかとなってきましたが、今秋より更に開かれた社とするために、積極的な新たな取り組みを神社は検討されています。



箭弓稲荷神社本殿 外観

横山 晋一（よこやま しんいち）准教授 横浜国立大学大学院。修士（芸術）。（助文化財建造物保存技術協会、学立教院立教大学を経て、2005年4月からものづくり大学講師、現在准教授。日本建築学会、日本建築家協会、文化財保存修復学会などに所属。（連絡先：048-564-3861/yokoyama@iot.ac.jp）



ものづくり大学における産学官連携

ものづくり研究情報センター 大島 誠一郎 主幹

ものづくり大学は、今年で開学14年目を迎えました。本学の英語名 Institute of Technologists は、故ピーター・F・ドラッカー氏によって名づけられました。「テクノロジスト」とは、単に理論がわかるだけでなく、高度な技術の腕を併せ持っている人のことを言います。この名のとおり本学は、科学・技術・技能の3つの基軸を重視し、実践的な工学教育・研究を通して、産業界に多くの人材を送り出してきました。

また、ものづくり研究情報センターは、実践的な工学教育・研究を重視する本学の特質から産業界のお役に立つため、産学官の連携の要として開学時に設置されました。

本学では産学連携の推進に当たって次の2点を基本指針としています。

第一に、生産現場のシーズに着目し、そこを視点として企業側と種々の検討を重ね、研究開発や生産性の向上を進めること。

第二に、産学連携を始める初期の段階から、企業側技術者と大学側教員による話し合いを進め、問題点やイノベーションについて専門的な意思疎通を図ること。

これらの指針を受けて、本学では企業との共同研究、受託研究、調査、実証実験などの研究委託の他、中小企業やベンチャー企業向けの技術相談、産業界に向けた様々な技術セミナーを

開催してきました。

また、官学連携については、国・県と協調し、求職者向けには、建築CAD設計製図等のキャリアアップ訓練など、在職者向けには、「埼玉県次世代産業カレッジ」や「ものづくり講座」等を通じて技術支援を行っています。

そして、これらのバックボーンとして、現場に精通した企業出身の優秀な教授陣を擁し、また、その質と豊富さにおいて国内トップクラスといえる教育研究機器・実習設備があります。

ここ数年、産業界は急激にグローバル化が進み、ものづくりの現場は海外にシフトし、国内にはものづくりのコアとなる製品開発や試作あるいは日本にしかできない製品開発などが残ると予想されます。技術開発には、情報の先進性や専門家の知識と経験そして常に進化を遂げる現場技術との融合が必要です。

このような現状を踏まえ、本学は積極的に県内産業界のお役に立ちたいと考えております。どんなことでも気軽にものづくり研究情報センターにご相談ください。

本学のそれぞれの分野で経験と実績を持った優れたスタッフが解決の力となると信じております。



大島 誠一郎（おおしま せいいちろう）主幹、上智大学法学部卒業後、県庁に採用され、主に農林、産業労働、都市整備行政に従事し、産業人材育成課長、産業労働部副部長を歴任し、2014年から現職に就任。（連絡先：048-564-3880/s_oshima@iot.ac.jp）

中部 クリーンシステム(株)

「安心・安全で快適な生活環境を極める」

クリーンシステムは環境と福祉の分野で業況を拡大しているアイルグループ(六社、一社会福祉法人)の中で、主に廃棄物の収集運搬処理とリサイクルのコンサルティングを担っている。

アイルグループ共通の企業理念は、一、地域・得意先様との共存共栄、二、信用は無限の財産、三、環境と福祉の真のサービス追求で、グループ内企業で理念を共有しながら新たな成長・発展ステージに邁進している。

クリーンシステムは、生ゴミを堆肥にして販売するという完全リサイクル化にいち早く着手し、完全子会社の(株)アイル・クリーンテックを設立



インタビュに応じた
小山哲司執行役員営業開発
部長



計量器付パッカー車
(生ゴミリサイクル専用)

し、今からおおよそ九年前には食品リサイクルシステムを完成させた。廃棄物処理を核に循環型社会の形成を目指し、安心・安全で快適環境を創造するエキスパート企業としてグループの一翼を担っている。当社は、廃棄物収集運搬のプロフェッショナルとして、運転手も全員お客様担当という意識を持って活動している。具体的には一人に一台タブレット端末を持たせ、お客様ごとの廃棄物の種類、重量などを現場で入力、自社開発した集計システムから出されたデータを基に、お客様に分別方法の改善や重量低減に繋がるアドバイスを行いコスト削減策などの提案もしている。

DATA	
社名	クリーンシステム(株)
所在地	さいたま市浦和区常盤2-9-10
会 話	048-831-4615
F A X	048-831-4622
U R L	http://www.i-l-group.co.jp
代 表	代表取締役 籠島延隆
設 立	昭和45年10月
資 本	金 6,000万円
従 業	員数 235名
事業内容	廃棄物(一般廃棄物、産業廃棄物)の収集・運搬・処分・再生、廃棄物処理に関する排出物処理の管理、廃棄物の処理・処分施設に係る企画設計、コンサルティング及び管理・運営の受託業務など

グループの理念に掲げている地域社会貢献に関しては、地元ロータリークラブと協力しながら新聞、雑誌、紙類、空き缶などを収集・売却し、その資金を福島被災地支援とする活動を三年間続けています。また、サッカーでは浦和レッズのサポーター企業として地元レッズの応援を続けており、さらに、浦和レッズレディーズで活躍している柴田選手と堂園選手はアイルグループの社員として勤務し、重要な戦力となっている。

人材の育成・教育面では、毎年の新卒定期採用、多能工の育成教育、外部セミナーなどへの積極派遣なども行い、社員のモチベーションアップにも注力している。インタビュにに応じた小山哲司執行役員は、「若手人材を育てるためには会社(組織自体)も成長しないといけない。今後とも循環にはならない。今後も具体的な仕組みづくりが必要」とし、「社会の中では企業が人を育てるべき」と強調した。

北部 ケイアイスター不動産(株)

「当社に関わる人全てを『豊・楽・快』にする企業でありたい」

本庄市に本社を構えるケイアイスター不動産は、塙圭二社長が一九九〇年、二三歳の時起業した会社。都内で不動産営業を経験した社長は、バブル景気による不動産業界の浮沈も経験し、「時代に流されないしっかりとした基盤をもつ会社を経営したい」と一念発起。本庄市を拠点に裸一貫で当社の前身を立ち上げた。

本庄市は人口約八万人で、新幹線や高速道路の整備などで、新規住宅着工に可能性のある街だと確信。さらに、不動産業界の古い体質から脱却し、お客様に喜ばれるサービスの提供と、「自分が良いと思ったことを正しいやり方で自信をもって進めれば、必ずお客様から信頼される企業になる」という信念のもと自らの信じた方向に突き進んだ。

そして、「当社に関わる人全てを『豊・楽・快(ゆたか)』にする企業でありたい」



塙圭二代表取締役

「豊・楽・快」を経営理念に掲げ、社員一丸となって「TEAM FOR YOU」を私たちはお客様のためのチームです」をキーワードに、時代と共に変化しながら躍進を続けている。

現在は、埼玉、群馬、栃木、東京エリアに支店・展示場などを三五拠点展開しており、設立以来二期連続増収という業績を続けている。その背景は、お客様、地域、従業員、取引業者など全てを大切にしている経営理念と正直な姿勢が認められた結果であろう。

地域社会貢献活動の取組例としては、子育て家庭の外出を支援するために事業場の施設を提供する「赤ちゃんの駅」。各支店や展示場の周辺を従業員が清掃・整備する「ロード

にする企業でありたい」を経営理念に掲げ、社員一丸となって「TEAM FOR YOU」を私たちはお客様のためのチームです」をキーワードに、時代と共に変化しながら躍進を続けている。



戸建分譲地

DATA	
社名	ケイアイスター不動産(株)
所在地	本庄市西富田762-1
会 話	0495-27-2525
F A X	0495-25-7272
U R L	http://www.ki-group.co.jp
代 表	代表取締役 塙 圭二
設 立	1990年11月
資 本	金 1億1,350万円
従 業	員数 480名
事業内容	戸建分譲事業、注文住宅事業、分譲マンション事業、総合不動産流通事業、アセット事業、管理事業、宅地造成

サポーター」。各県で認定している「パパ・ママ支援制度」への加盟。CO₂削減対策への取り組みとして環境保護活動「Fun to share」。そして、お客様の満足度向上のため、取引業者(下請け等)も含めた「CS研修会」も年間二回実施している。

さらに、人材が生き生きと育っている企業に光を当て世の中に広めることで、地域の活性化に繋げることを目的として実施している「働きがいのある調査」(調査機関:GPTWジャパン(Great Place to Work®) Institute Japan)の「埼玉県における働きがいのある会社ランキング」でも二年連続で優秀企業として選定され、その上位ランキング「日本における働きがいのある会社」にも県内から二社(ケイアイスター不動産(株)、川木建設(株))が選出されている。

当社の「雇用から社会活動、環境保護まで、人、地域の活性につながる貢献活動」が高く評価されるとともに「成長を続ける企業」としても注目を浴びている。

南部 サーマル化工(株)

「サーマル化工は純水素 焼鈍・金属特性NO1」

サーマル化工株式会社は、水素炉に特化し、焼鈍処理を行なう専門メーカーで、特設な設備にこだわり、他社ではあつかわない金属部品の磁気焼鈍、光輝焼鈍を行なっています。

真空炉など一般的な設備は全く持たず、水素のみを使用した専門熱処理によるビジネスモデルを構築しており、国内では当社を含め数社のみです。

現在、十六基の水素炉を持っており、水素炉をこれだけそろえている中小企業はほとんどありません。

真空炉など他の処理方法の場合、廃棄物や不純物が発生したり、炉の他に真空ポン



石井孝徳社長



サーマル化工本社

DATA	
会社名	サーマル化工株式会社
本社	戸田市早瀬1-18-3
代表者	代表取締役 石井孝徳
創業	昭和42年2月
資本金	1,000万円
従業員数	10名
業種	純水素による焼鈍等
特許	第1123252号

十一年、石井文任社長が退任、石井孝徳専務が社長となる。二十二年、埼玉県彩の国工場に指定。同年、二度目の経営革新計画が承認される。二十三年、戸田市新技術開発支援事業に認定。

石井孝徳社長は十年間、カーバンやハンドバック等の製造御問屋で、営業として働き、その後、当社に入社。そして、その経験を大いに活かし、手書きで遅れていた納品書や請求書処理等をシステム化、ホームページ等も自力で制作した。数々の改革・革新を断行した。さらに、経営戦略、財務等も積極的に研究し、その中で「経営分析に行き着き、営業の強み弱みを解析し、営業と会社運営に生かした」と話された。

当社は、昭和四十一年、磁性材料の光輝焼鈍処理会社として創業。四十六年、沖電気工業との業務提携が成立し、同社協力工場となる。同年、戸田市(現住所)に工場移転。六十一年、初代山越社長が退任、石井文任社長の下、新体制でスタート。平成十七年、経営革新法認可法人取得。二

その納入実績は、(株)豊田中央研究所、(株)村田製作所、三井金属鉱業(株)、三菱マテリア(株)等々、大企業との取引が多いが、それは、当社の技術力の高さと、ROHSなどの化学物質規制に完全対応しているからでもある。

西部 三光建設(株)

「御縁の仕事」

三光建設株式会社の歴史は、現栗原雄一社長の祖父で、木材商であった三代前まで遡る。栗原社長は当社の経営についてこの様に語った。

「我々の品質方針は『自然の摂理にのっとり真心のこもった製品・サービスをお届けする事でお客様の永続的な安心を守り続ける』を掲げ行動しています。もともと建設業を意識して会社を起業したのでは無く、お客様との長年の信頼関係や『御縁』がきっかけで、お客様が抱えている悩みや心配等の問題を解決して喜ばれて、今の事業を続けています。

水が、高い所から低い所に流れるように、無理に物事を進めるのではなく、自然の摂理にのっとり、真面目に真心を込めてお客様との歩調を合わせ、永続的にお客様と関われるようにとの思いで進めています。



栗原雄一社長



ニッテツスーパーフレーム工法

DATA	
会社名	三光建設株式会社
本社	川越市下小坂458-4
代表者	代表取締役 栗原雄一
発足	昭和43年1月
資本金	1億円
営業種目	総合建設業、不動産業
事業内容	一般建築及び土木、設計、施工、リフォーム、建築、不動産の総合コンサルティング等

そのためには、建築、不動産に関連する企画力、技術力、管理能力などの総合的な力を絶えず強化しなければなりません。いわゆるお客様に安心していただける『資産構築のワンストップサービス』を実現することが私の責務であると考えています」

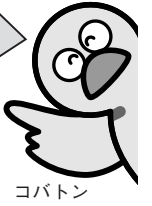
現在の事業は、建築及び土木における総合的な企画、設計、施工、アフターメンテナンスや、不動産の売買、賃貸管理など、建築及び不動産に関することなら何でも行っている。

なお、埼玉県知事より、特定建設業、一般建設業、一般建築士事務所、宅地建物取引業の認可を受けている。沿革は、昭和四十三年、三

光建設として発足。五十三年、三光建設(株)として発足。五十四年には、宅地建物取引業認可を受け、同年、設計事務所登録も行なう。六十年には、川越駅西口支店を開設し、現在の本社社屋は平成二年に建設している。また、官公庁向け建築物の設計及び施工監理のISO9001承認を取得。現社長の栗原雄一氏が社長に就任したのは、平成十四年である。

施工実績は、土地所有者の土地の有効活用をメインに賃貸マンション、商業ビル、商業テナントなど多くを手がけており、近年では、保育園、グループホーム、特別養護老人ホーム等の社会福祉施設、市役所耐震工事などの公共工事等も施工している。

今後は、今まで以上に人との繋がりが『御縁』を基本として、予測されている基幹整備の取り組として、「高齢化社会への対応と環境への更なる対応である」と、栗原社長は話を結ばれた。



コバトン

埼玉県からのお知らせ

知事が日本・米国中西部会本会議に出席

去る9月7日(日)～8日(月)、知事は米
国・アイオワ州で開催された日本・米
国中西部会本会議に出席しました。

開会式で知事は、米国中西部各州知
事、日米経済界の要人など約300人
の出席者に対して、本県が進める先進的
な施策や、高速道路網が充実し、高い技
術を持った企業が集積する本県の優れ
たビジネス環境等をアピールしました。

○問い合わせ先
県企業立地課
(048-830-3766)



「輝く女性への応援メッセージ」 優秀作品を決定しました

県では、仕事や趣味、子育てなどで

いきいきと輝く女性を応援する気持ち
を表したメッセージを募集しました。
その結果、お母さんや妻への感謝の
言葉、娘や同僚への激励の言葉など、
909通もの御応募をいただきました。
その中から優秀作品3通のメッセー
ジを9月13日「SATAMA Smile Women
フェスタ2014」にて発表し、賞品
の贈呈を行いました。
また、優秀作品3通を含む50通のメ
ッセージを掲載した作品集を作成し、
ウーマノミクスサイトに掲載していま
す。是非御覧ください。

https://saitama-womenomics.info/
campaign/detail/

○問い合わせ先
ウーマノミクス課
(048-830-3960)

「どうする？我が社の女性活躍」 ワークショップの参加者を募集します

県では、経営者・管理職・人事担当
の皆様を対象に、女性活躍推進に関す
るワークショップを開催しています。
今回のテーマは「女性が活躍しやすい
制度(産休・時短勤務)、施策作りと
は」です。

開催日時 1月26日(月)(13時～16時)
場所 大宮ソニックシティ
費用 無料

その他詳細及びお申込みは埼玉新聞
HPをご覧ください。
http://www.saitama-np.co.jp/
kijikokoku/womensenior/

○問い合わせ先
「どうする？我が社の女性活躍」ワ
orkshop事務局
(048-795-9932)

県ウーマノミクス課
(048-830-3965)

夢ある埼玉・就活プロジェクト 「合同企業面接会」を開催します

平成26年12月17日(水)に都内で合同企

業面接会を開催します。この面接会は
平成27年3月卒業予定の大学生等を対
象に実施するものです。当日は参加企
業がブースを構え、来場者との面接を
実施します。当日の見学は自由ですの
で、今後採用を検討されている事業所
のみならず是非お越しください。
なお、面接会への参加は県内経済団
体や金融機関と連携して決定していま
す。御不明な点は問い合わせ先まで御
連絡下さい。

1 イベント概要
埼玉県で就職を希望する若者と県内
中小企業との合同企業面接会

2 日時等
・日時 平成26年12月17日(水)午後1時
～午後4時
・場所 新宿NSビル地下 中展示ホ
ール(新宿駅「南口・西口」
より徒歩7分)

○問い合わせ先
県就業支援課
(048-830-4538)



9月17日に開催した夢ある埼玉・
就活プロジェクト「ここで決め
る！合同企業面接会」の様子

埼玉は街バルを推進 しています

12月、1月は県内4か所で街バルを
開催します。

県では、平成24年度から商店街の活
性化支援として街バル(埼玉アキナイ
BAR(バル))の開催を13地区で支
援しています。

今年度は「地域みんなの商店街再生

事業」として街バルを新たに開催する
商工団体や商店街を支援しており、12
月からは、坂戸、草加、本庄、入間で
開催します。
地元でお気に入りのお店を探すと好
の機会となっておりますので、是非お
出かけください。

詳細はHPを御覧ください。
http://www.pref.saitama.lg.jp/site/
machibu/

名称・開催地区・開催予定日
(1)さかど街バル・坂戸駅、北坂戸駅、
若葉駅周辺・12月4日(木)～6日(土)、
(2)新田街バル・新田ふれあいロード商
店街振興組合、新田横丁商店街・12
月5日(金)、6日(土)、
(3)本庄ぐるぐる～ちよい呑み食めぐり
～本庄駅周辺・1月10日(土)～12日(月)、
(4)いるバル☆ぶらりグルメ探検～
入間市内・1月29日(木)～31日(土)

○問い合わせ先
県商業・サービス産業支援課
(048-830-3761)

労働相談センターを 御利用ください

埼玉県では、様々な労働問題の相談
について、労使双方からの相談をお受
けしています。また、社員の人間関係
など、職場の悩みについて専門家がお
話を聞きアドバイスをしています。職
場のメンタルヘルスについては、使用
者からの相談も行っております。

お気軽に御利用ください。
○労働相談
・電話による相談
月～金 午前9時～午後5時
・面接による相談
月～金 午前9時～午後4時
(いずれも祝日・年末年始を除く)

○働く人のメンタルヘルス相談
毎週水曜日 午後1時半～3時
(祝日・年末年始を除く)

※要予約(前日の午前中まで)

・詳細はHPを御覧ください。
http://www.pref.saitama.lg.jp/site/
rodosodan/

年末の資金需要に対応し た県制度融資の御案内

事業資金(短期貸付)
賞与支払や仕入等のための短期運転
資金として御利用いただけます。
利率は年1.1%以内(信用保証な
し融資は年1.5%以内)で、限度額
は2千万円です。

経営あんしん資金
例えば、円安の影響などを受け、原
材料費が高騰することにより利益率の
減少が見込まれるなど、最近3か月の
売上や利益率が前年同期と比較して減
少、又は減少見込みの場合に御利用い
ただけます。

利率は年1.5%以内、限度額は5
千万円です。

借換資金
県制度融資の既往借入金がある方が
新規運転資金を追加しつつ、毎月の返
済負担を軽減したい場合にご利用いた
だけます。

利率は金融機関所定利率、限度額は
1億円(既往借入金、新規運転資金及
び借換え時に支払う信用保証料相当額
の合計)です。

※融資にあたっては金融機関及び信用
保証協会の審査があります。

※短期貸付を信用保証なしで御利用い
ただく場合を除き、別途、信用保証
料が必要です。

http://www.pref.saitama.lg.jp/site/
seidoysushi/

○問い合わせ先
地元の商工会議所又は商工会
県金融課
(048-830-3801)

第13回企業倫理

トップセミナー

企業不祥事の未然防止・

事後対応に関する対策聞く

経団連は10月14日、東京・大手町の経団連会館で約430名の参加者を得て、第13回企業倫理トップセミナーを開催した。

開会にあたり榎原定征会長が、「企業倫理の確立、社会的責任の実践は経営者の最優先の責務。経営者自身が強いリーダーシップを発揮して社内体制の整備と従業員の意識醸成に取り組んでいただきたい」とあいさつした。

続いてふじ合同法律事務所の中込秀樹弁護士が「企業不祥事の問題調査の過程で把握した企業の統治、遵法、倫理維持における問題とその対策」と題する講演を行った。講演要旨は次のとおり。

■事実認定と法律判断

私は、1967年に任官してから、定年まで約40年間裁判官を務めてきた。裁判官の仕事は端的にいえば、事実認定、法律判断を行い、理由が説明できる判決を書くということである。事実認定は法律要件に基づいて公正・公明に行うものであるが、法律判断は、経験則によることも大きい。裁判官は経験則を身につけることが最も重要である。

また、裁判官の理想は「愚直」であるということである。多くの時間を使って記録をよく読み、事実を積み上げることが重要である。先に事件の筋書きを想定して進めていく手法は、誤った判断を行う原因となり結果として被害者を生むことになりかねない。

■不祥事の類型・原因
不祥事の類型としては、業種、業態によりさまざまなものがある。典型的なものには個人による会社資金の横領や詐欺行為を見逃し、会社に損害を与えるもの、経理担当者による粉飾決算や帳簿記載の不正操作、贈賄、不正送金、報告義務違反やインサイダー取引禁止等の取締法違反行為の放置などである。

これらは会社のシステムを構築することによって相当程度は防止できるが、会社内の人間関係、会社上部と社員の意思疎通や一体感、使命感、仕事に対するプライド、その人に即応した処遇等人事政策や人事の運用、日々の人間関係、上司の人物・気遣いなどの役割の占める割合が大きい。

■事後対応の類型

不祥事にも単発的なもの、連続的なもの、個人的なもの、組織的なもの、その態様、悪質さ、会社組織の関与度、不祥事に関与した者の地位、職種、会社業務との関連性の濃淡など、さまざまなケースがあり、事後対応もこれらによって異なる。

まず不祥事が判明したら速やかに公表を行うことが重要である。事実関係の調査においては、第三者委員会を設置するケースもあるが、第三者委員会の役割にも意見を述べるものから独立の委員会で調査するものなど種々のものがある。責任の取り方はいろいろあるが、日本の対応ではあるものの、少なくとも謝罪は絶対に必要である。

■不祥事の予防

まず重要なのは、管理者と現場、上司と部下の間の信頼関係である。意見を述べても正当に理解され、不当な取り扱いを受けないという信頼関係や、意見をいえる、いわせる企業風土が不祥事の未然防止につながる。

取締役会の活性化という観点では、社外取締役・社外監査役を置くだけでは意味がない。制度を設けることよりも、それをどう機能させるかが重要である。

また、過去の事例では、固定観念が不祥事の芽を見逃す原因となることも多い。一律・規則的な対応を行う点でマニュアルは重要だが、一方でそれが固定し、対応を硬直化させることもあるため、規則が制定されている理由を十分に理解し、柔軟な対応ができるよう社員教育を行う必要がある。

講演を受けて、大宮英明副会長・企業行動委員長は、「企業倫理の徹底、浸透に向け、各社において実効ある施策を講じていただきたい」と述べた。

自己保健義務

弁護士 安西 愈

であり、労働者の健康は、労働者自らのものであるから、その不調、自覚症状の発現等疾病の状態が生じた場合には、自ら医師の診断を求め積極的にこれを治療すべきが当然である。

労働安全衛生法(以下、「安衛法」という)は、事業者に対して各種の措置義務を定めるとともに、労働者に対しても同法第二六条において、「労働者は、事業者が講ずる措置に応じて必要な事項を守らなければならない。」と定めて、労働者にも罰則付きで遵守義務を課している。このように労働者にも安衛法に定められた義務の遵守義務があり、使用者の健康管理義務に対応する義務として、労働者自身が安衛法を遵守するのはもとより、自己自身の健康を管理し、健診を受け、使用者の行う健康管理措置に協力して、心身ともに完全な労働を提供するために自己の健康状態の維持を図っていく義務をいう。

判例上も、「自己の健康については、自己自身がまた常に心掛けておらねばならぬことはいまでもない。なるほど、定期健診の結果、異常がないとされた場合、通常その者がこれに依拠して行動することは確かである。しかし、そうとはいえず、定期健診後は全面的にその結果にのみ依拠して行動し、自身は保健に留意しないということは不当なべきことは明らかである。」(昭四八・四・二四岡山地裁津山支部判決)とされているが、当然の事理であるといえる。

労働法

健康管理の問題は、安全管理の場合とちがって労働者自身の内面上のことであり、労働者の健康は、労働者自らのものであるから、その不調、自覚症状の発現等疾病の状態が生じた場合には、自ら医師の診断を求め積極的にこれを治療すべきが当然である。特に労働者のメンタルヘルスについては、「心の健康」問題でもあり、本人のプライバシーの領域に属するものであるだけに、労働者自身が使用者のメンタルヘルスケアに協力し、自分自身の精神的健康の保持がより強く求められている。

また、今回改正された安衛法のストレスチェック制度も、プライバシーの観点から事業者への通知は労働者が同意したことを要件としているので、より労働者自身の責任にかかる自己保健義務に委ねられている。

労働者が自己保健義務に違反した場合には、使用者の安全配慮義務の免責や縮減の関係(過失相殺など)が生ずる。この点について、いわゆる過労死として使用者に損害賠償責任が認められた事例においても、被災者は「毎年被告から健康診断結果の通知を受けており、自らが高血圧であって治療が必要な状態であることを知っていたにもかかわらず、精密検査を受診したり、あるいは医師の治療を受けることをしなかったこと、また、一方で、体重を減らそうとする努力をしたとは認められないなど自らの健康の保持について、何ら配慮を行っていない。」(平一〇・三・一九東京地裁判決、平一一・九・二八東京高裁判決も同旨)として五〇%、「入院を勧められる容態を隠していた」(平六・一二・二〇岡山地裁判決)として七五%の相殺をした事例等、他にも多数ある。

「生涯現役社会に向けた雇用制度」 の導入を検討してみませんか?

高齢者の知識・経験を企業の活性化に。

少子高齢化の進展により日本の労働力人口が大幅に減少することが懸念される中、企業にとって知識や技能を持った“人財”の確保が一層必要となります。定年の廃止、定年後の継続雇用等、健康で意欲と能力がある限り働き続けることができる雇用制度を導入することにより、社員のモチベーションを高く保つことができ、社内の活性化につながることを期待されます。また、ベテラン社員が永年の勤務で培った知識、経験、技能、人脈等を伝承することにより、将来の会社の担い手となる若手社員を育てることができ、今後の企業環境の変化に対応することができると考えます。生涯現役で活躍し続けられる社会環境を企業が整えることが重要です。

生涯現役社会実現に向けて取り組んでいます。



大栄管理株式会社

会社概要

所在地：さいたま市大宮区
代表者：代表取締役社長 佐藤 誠
設立：昭和 36 年 5 月 22 日
資本金：3,900 万円
従業員数：650 人（平成 26 年 5 月 15 日現在）
業 種：ビルメンテナンス業



代表取締役社長
佐藤 誠

私たちは、50年の経験と実績を生かしたビルメンテナンスのプロフェッショナルとして卓越した技術と最新の設備を駆使して、建物管理に関するすべての業務を網羅し、快適な環境の維持を実現しています。また、様々な教育・研修システム、施設を充実させ、スタッフ全員のクオリティアップを目指しており、業務の効率化によるコスト削減、ハイクオリティなサービスをご提供しています。私たちは、多様化されたニーズを確実にとらえながら、ビルオーナーをはじめとしたお客様にご満足いただけるよう努力し続けます。

取り組み内容・目標

【目標】

希望者全員 65 歳の誕生日前日まで雇用後、多様な働き方で 70 歳以上まで継続して雇用する制度の検討と導入

【取り組み内容】

- ・制度導入のメリット・リスクの整理を実施済み
- ・従業員のうち 480 名の意識調査アンケートを実施済み
- ・想定される問題点や課題の洗い出しとそれらに対する解決策をとりまとめ中



大栄管理株式会社 社屋

モデル事業に関する
お問い合わせは
こちらまで

公益財団法人産業雇用安定センター

TEL 03-5627-3725 <http://www.sangyokoyo.or.jp/>

事業だより

一〇月一日～一月二五日

- ◆一〇・二 第九回トップセミナー(ソニックシティ)
- ◆一〇・八 第五回特別セミナー(ソニックシティ)
- ◆一〇・九 理事会・臨時総会(パレスホテル大宮)
- ◆一〇・一〇 第三次小笠原洋上研修(二十五日まで、父島往復)
- ◆一〇・二〇 第一〇回トップセミナー(パレスホテル)
- ◆一〇・二〇 新入社員フォローアップ研修(ソニックシティ)
- ◆一〇・二二 西部地区協議会(本田技研工業(株)小川工場)
- ◆一〇・二七 第一回ウーマノミクス推進委員会(ソニックシティ)
- ◆一〇・二九 第一回トップセミナー(ソニックシティ)
- ◆一一・四 第二回地域社会問題委員会(ソニックシティ)
- ◆一一・五 南部地区協議会(三州製菓(株)エス・テラス)
- ◆一一・六 第二回産業教育委員会(ソニックシティ)
- ◆一一・一〇 第二回CSR委員会(ソニックシティ)
- ◆一一・一一 北部地区協議会(赤城乳業(株)本庄千本さくら『5S』工場)
- ◆一一・一三、一四 青年経営者部会全国大会(パレスホテル大宮)
- ◆一一・一七 第二回農業ビジネス研究会(ソニックシティ)
- ◆一一・一八 第一回企業戦略研究会(ソニックシティ)
- ◆一一・二五 第二回トップセミナー(パレスホテル)



第202回

▼世界的な話題として、今は「エボラ出血熱」が挙げられる。西アフリカ地方で多くの感染者がみられ、「国境なき医師団」などで活動した方々が、亡くなられている報道を聞くに残念で仕方ない。

既に天国に旅立たれたが、主治医の先生とこんな話をしたことを思い出した。「地球から人類が全滅するようなケースは、隕石の地球直撃や火山大噴火、大地震や大津波などでしょうか？」

「いや、この様な異常気象が続くと、気温などの急激な変化などが原因で、予期しない病気が突然発生し、その感染スピードが凄かったら、また、薬の準備などなかった場合の方がはるかに確立は高いよ」と。

今回のエボラ出血熱や、その少し前に話題となったデング熱などが亡き先生の顔と何故か重なってしまい、想定外の事態にオールワールドで、対応できる状態の整備を強めて欲しいと願って止まない。

▼近年は余り秋を感じない日本になってしまったと、四季の変化を楽しめた日本は何処にいったしまっただろう

こんな時にこんな事を!

エッセイスト 和宮英之

か?今日も北海道の札幌や旭川で初雪が降った。相当以前になるが、北海道の平地で十月二十六日と十一月三日に初雪に遭遇し、「雪を土産に出来ないでくれ!」と冗談を言われたことがあった。さて、今年の冬は気象庁の発表によれば、比較的暖冬らしいが、日々の気温は大きな寒暖が生じることが多いらしい。夏といい、冬といい、高齢者や病気の入達にとっては、健康維持に大変としか言いようがない。

▼第二次安倍改組内閣がスタートしたが、女性大臣の二人が辞任し、折角の女性活用をうたった安倍総理も頭が痛いことであろう。海外の国での女性活用割合と、日本とは相当な開きがあるが、長い歴史やお国柄を考えると一気には中々いかならぬと思う。昔、次のようなアンケートをみた思いが...

「貴男は女性の管理監督者の起用に賛成ですか?」
 「非常に素晴らしい事です。賛同します」
 ・大半の男性はこのよう

な答えでした。
 「では、貴男は女性の管理監督者の部下で、働くことをどの様に思いますか?」
 「女性上司の下で働くことは嫌です

よ」
 ・大半の男性はこのよう答えました。さあ、皆様の本音は如何ですか?

全国ネットの人材情報で、出向・移籍等の支援!

お気軽にご相談ください

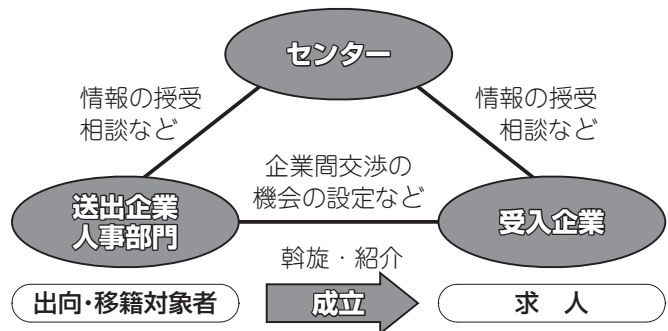
企業間の人材マッチングをサポートしています。

信頼と安心

経済・産業団体と厚生労働省の協力で設立された公益法人です。

無料

情報の提供、相談、あっせん費用はかかりません。



●お問い合わせ

☎048-642-1121(土・日・祝日休)

http://www.sangyokoyo.or.jp/

出向・移籍の
専門機関



公益財団法人
産業雇用安定センター

埼玉
事務所

★第二回トップセミナー

日時 一月二五日(火)一三時三〇分～一六時

会場 パレスホテル大宮

内容 福島第一原発元所長吉田昌郎氏に学ぶ『修羅場のリーダーシップ』～極限状態の中で闘った、一人のリーダーの生き様とは

講師 ノンフィクション作家 門田隆将氏

★埼玉大学研究開発フォーラム

日時 一月一日(月)一三時三〇分～一六時三〇分

会場 ソニックシティ

内容 研究開発の最前線を学ぶ～生活の質を向上させるヒューマンインターフェイス先端技術～

講師 埼玉大学理工学研究科数理解

電子情報部門准教授 辻俊明氏

同大学理工学研究科戦略的研究部門教授 高崎正也氏

同大学理工学研究科人間支援・生産科学部門教授 森田真史氏

★第二回企業戦略研究会

日時 一月四日(木)一四時～一六時三〇分

会場 ソニックシティ

内容 営業部門の見える化～現場の知恵と秘訣を経営基盤に

講師 ビジネスコーチ(株)執行役員 イノベーション事業部事業部長 工藤良介氏

★第五回西村会長杯争奪戦会員親睦ゴルフ大会

日時 一月五日(金)九時一〇分

会場 武蔵カントリー倶楽部笹井

コース

★第三回CSR委員会

日時 一月一日(水)一三時三〇分～一六時四五分

会場 ソニックシティ

内容 インテルのCSR戦略・NPOと企業のマッチングプログラム

講師 インテル(株)CSR統括部長 江頭靖二氏

★第四回人事労務委員会

日時 一月一日(月)一三時三〇分～一六時三〇分

会場 ソニックシティ

内容 組織開発が最強のメンタルヘルス対策になる～組織開発を通じて健康経営の実現

講師 一般社団法人中小企業EAP普及推進協議会代表理事 宮川浩一氏

★第六回特別セミナー

日時 一月九日(金)一四時～一六時

会場 ソニックシティ

内容 国土強靱化とは、そして国土強靱化計画とは？

講師 アビームコンサルティング(株)執行役員プリンスパル 松田智幸氏

★第一三回トップセミナー

日時 一月二四日(水)一四時～一六時

会場 ソニックシティ

内容 二〇一五年の世界経済、日本経済を展望する

講師 (株)第一生命経済研究所首席エコノミスト 永濱利廣氏

★第三回グローバル委員会

日時 一月九日(月)一四時～一六時四〇分

会場 ソニックシティ

内容 改めて考える、ASEAN 進出・展開のポイント～海外展開支援現場からの教訓と参考事例

講師 (株)フォーバル海外デバイス ヨンリサーチ&コンサルティング グループ長 広幡勝典氏

★埼玉大学特別公開講座第一講

日時 一月二一日(水)一四時～一六時

会場 ソニックシティ

内容 長期的なアジア経済の成長

講師 埼玉大学経済学部教授 田口博之氏

〈新入会のご案内〉

佐藤興産(株)

代表取締役 佐藤 一博

さいたま市大宮区吉敷町二一四

電話〇四八―六四二―一五〇五一

(資) 五千万円

(従) 五二名

医療法人心英会 介護老人保健施設なのはなの里

理事長 宮里 良英

北葛飾郡松伏町金杉一九〇八

電話〇四八―九九二―五五一一 (資) 一億三千七百万円

(従) 一一〇名

医療・介護事業

(株)高橋監理

代表取締役 高橋 龍夫

春日部市豊野町二一三二一

電話〇四八―七三六―一二二二八

(資) 三億八千万円

(従) 七五名

建設業、救命具開発製造業

(株)中央デパート

代表取締役 木村 和男

さいたま市大宮区大門町二一七三 電話〇四八―六四三―二二二二 (資) 一千万円 (従) 九名 百貨店業

日本メックス(株)北関東支店

北関東支店長 福田 孝男

さいたま市大宮区仲町二一六〇

電話〇四八―六四九―六六三一 (資) 一億二千万円

(従) 一一七〇名

建物総合管理、FM技術コンサル

総支配人

繁治 英志 (旧 茂木 義之)

代表取締役社長

宇野 三花 (旧 塩浦 綾子)

埼玉県民共済生活協同組合

理事長

利根 忠博 (旧 服部 光明)

大興電子通信(株)

関東支店長 佐藤 真義 (旧 菅原 英敏)

(株)NTTファシリティーズ北関東・信越支店

(旧 (株)NTTファシリティーズ)

(株)トクデンプロセル営業部さいたま営業所

(旧 (株)トクデンプロセルさいたま支店)

〈住所変更〉

日本自動車管理(株)

さいたま市北区日新町一一七

三一― (旧) さいたま市北区日新町一一九〇)

発行所 埼玉県経営者協会

発行人 根岸茂文

編集人 編纂者

電話〇四八―六四七―四〇〇

印刷所 望月印刷株式会社

さいたま市中央区阿弥五八三六